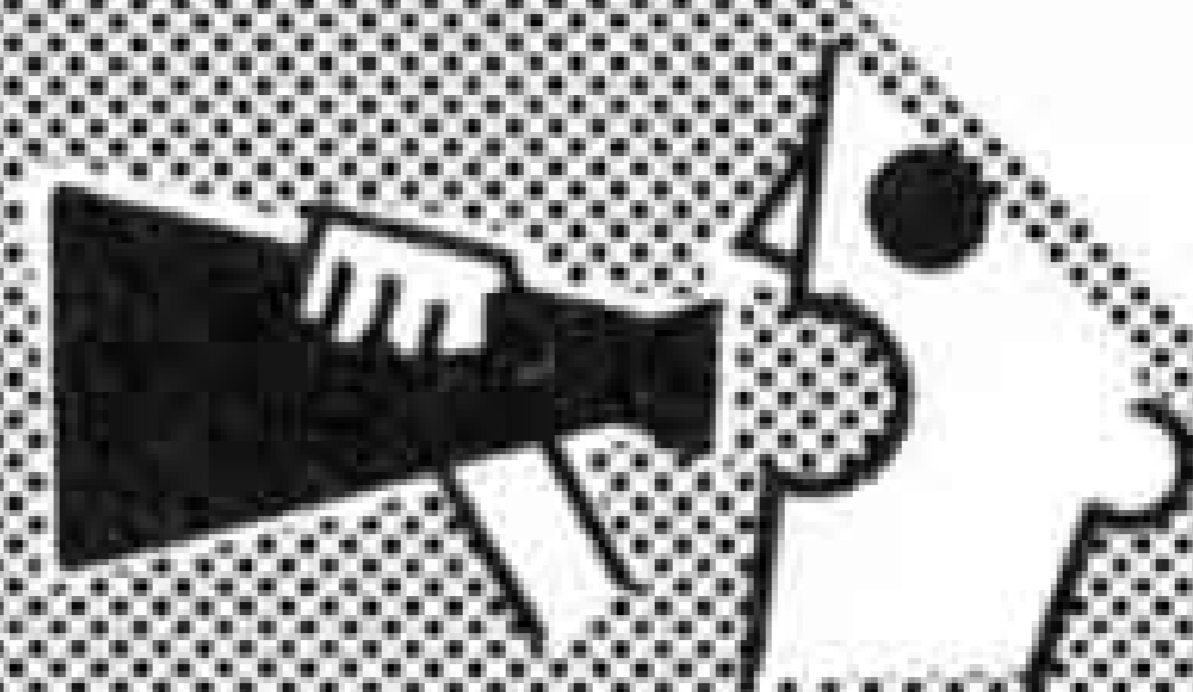


モニター提言



ゴミの不法投棄に 厳しい取締りを

ゴミの不法投棄については、いろいろの方法で取り締りの徹底をはかっているようですが、いまだにあとを絶たないのが現状のようです。不法投棄をなくすために2、3の提案があります。

第1に、すでに捨てられているゴミを取り除くことが肝心です。口でいくらゴミを捨てないように、といつてもゴミが捨てられていれば、そこへ捨てたくなるのが人情(?)ではないでしょうか。きれいになつている所にはゴミを捨てにくいものです。すでに捨てられているゴミを処理するのは、多くの費用と労力が必要とは思いますがぜひ実行してください。

つぎは、ゴミ処理に協力をしている町内や部落に対し、毎年表彰するなどをして、みんなが町をきれいにする気持をもつような方法を実施してください。また不法投棄については厳重な取締りを行っているようですが、市として可能な範囲で罰則を設けることが必要かと思ひます。

要するに不法投棄してある場所を放置しない施策を取り上げてほしいものです。夏に向い、ハエやカの発生も多くなるので、ぜひとも捨てられたゴミを取り除いてほしいものです。(片岡真吾)



みんなが町をきれい にする心掛けを

さいきん、包装技術が進みすこしの物でもきれいに、念入りに包装がしてあります。そして、包装材料はくさらない物が多く使用されています。

ビニール袋、プラスチック容器など捨てられたものが、いつまでも町角のすみにたまつています。雨が降れば下水に流れ込み、下水のつまる原因になります。

みんなが自分の家のまわりのゴミは自分で拾うように心がければ、こうしたことはなくなると思ひます。拾つたゴミは市のゴミ収集のときに出せば済むことです。ひとりひとりが、身近かな所からきれいにする心掛けをもちたいと思ひます。それは小さなことですが「公害」をなくす一つの方法だと思ひますが…。(萩原ふみ子)

道路工事などには 必ず標示をして

先ごろ近くで下水道工事が行なわれました。自分の住む周囲が整備されていくことは大変うれしいことです。

でも、その工事で一つ気になつたことがあります。というのは、工事についての標示が何もしてなかつたことです。そのため、いつからいつまでの工事かもわからぬうちに工事が終わりました。ほんとうはどうなつているのでしょうか。

「〇月〇日から〇月〇日まで通行止」といふような標示をするのが普通ではないでしょうか。しかも、工事中に水道が止つたことがありました。近くの家には通知のあつたところもあつたようですが1日止まつてしまい飲み水もなく大変困つてしまいました。

道路工事や下水道工事などは、市内で毎日のように行なわれていることです。関係の課では市民のことを考え、工事の一週間くらい前に知らせるとか、工事関係の標示を必ずするというを実施していただきたいと思ひます。(畑漆久子)

統計でみる 富士市

45年の工業出荷額は3742億6343万円

工業統計調査の概要がこのほどまとまりました。昭和45年は家庭電気産業、紙関係の操業短縮などが話題になりましたが、富士市の工業は順調な発展を示しました。

富士市の昭和45年の工業出荷額は3742億6343万円。昭和44年に比べ612億2623万円多く、19.6%の伸び率を示しています。しかし43年から44年の伸び率は多少にぶくなつています。

また、産業別では紙パルプをはじめとする軽工業が、依然として52%を占めていますが、重工業の占める割合は年ごとに多くなり、産業のバランスがとれてきました。市内の事業所数は1153、従業者数は43,684人でした。

なお、県下の工業出荷額の多いのは第1位が浜松市で4102億円、第2位が富士市で、第3位は清水市で3183億円です。

昭和45年 産業別 製造品出荷額構成比

